



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2021/8/9 №18



長崎に原爆が投下されて 76 年

広島が「**最初の被爆地**」という事実によって永遠に歴史に記されるとすれば、長崎が「**最後の被爆地**」として歴史に刻まれ続けるかどうかは、**私たちがつくっていく未来によって決まっていく！**

平和宣言(抜粋)

日本政府と国会議員に訴えます。

核兵器による惨禍を最もよく知るわが国だからこそ、第 1 回締約国会議にオブザーバーとして参加し、核兵器禁止条約を育てるための道を探ってください。日本政府は、条約に記された核実験などの被害者への援助について、どの国よりも貢献できるはずです。そして、一日も早く核兵器禁止条約に署名し、批准することを求めます。「戦争をしない」という日本国憲法の平和の理念を堅持するとともに、核兵器のない世界に向かう一つの道として、「核の傘」ではなく「非核の傘」となる北東アジア非核兵器地帯構想について検討を始めてください。

核保有国と核の傘の下にいる国々のリーダーに訴えます。

国を守るために核兵器は必要だとする「核抑止」の考え方のもとで、世界はむしろ危険性を増している、という現実を直視すべきです。次の NPT 再検討会議で世界の核軍縮を実質的に進展させること、そのためにも、まず米露がさらなる核兵器削減へ踏み出すことを求めます。

地球に住むすべての皆さん。

私たちはコロナ禍によって、当たり前だと思っていた日常が世界規模で失われてしまうという体験をしました。そして、**危機を乗り越えるためには、一人一人が当事者として考え、行動する必要がある**ことを学びました。今、私たちはパンデミック収束後に元に戻るのではなく、元よりもいい未来を築くためにどうすればいいのか、という問いを共有しています。核兵器についても同じです。私たち人類はこれからも、地球を汚染し、人類を破滅させる核兵器を持ち続ける未来を選ぶのでしょうか。脱炭素化や SDGs の動きと同じように、核兵器がもたらす危険についても**一人一人が声をあげ、世界を変えるべき時がきている**のではないのでしょうか。

「長崎を最後の被爆地に」

この言葉を、長崎から世界中の皆さんに届けます。広島が「最初の被爆地」という事実によって永遠に歴史に記されるとすれば、長崎が「最後の被爆地」として歴史に刻まれ続けるかどうかは、**私たちがつくっていく未来によって決まります**。この言葉に込められているのは、「**世界中の誰にも、二度と、同じ体験をさせない**」という被爆者の変わらぬ決意であり、核兵器禁止条約に込められた明確な目標であり、私たち一人一人が持ち続けるべき希望なのです。

平和は一人一人の行動から！